

## 総務文教常任委員会審査概要報告書

委員長 梅島 清香

- I 開催年月日 令和 7 年 5 月 19 日（月）
- II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 25 分
- III 出席委員等
- |         |                               |             |       |
|---------|-------------------------------|-------------|-------|
| 〔出席委員〕  | ◎梅島 清香                        | ○山上 尊士      | 林 貴文  |
|         | 高岡 宏和                         | 坂林 永喜       | 酒井 善広 |
|         | 上田 武                          | 水口 清志       |       |
|         | (◎…委員長                        | ○…副委員長)     |       |
| 〔議長〕    | 藪中 一夫                         |             |       |
| 〔副議長〕   | ※高岡 宏和                        | 副議長は委員として出席 |       |
| 〔説明員〕   | 別紙名簿のとおり（山下未来課長・秘書課長が公務のため欠席） |             |       |
| 〔委員外議員〕 | なし                            |             |       |
| 〔事務局職員〕 | 松本 武司                         | 島田 輝        | 戸成 秀徳 |
| 〔傍聴者〕   | 2 名                           |             |       |

### IV 審査の概要

#### 1 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔総務部〕

- (1) 令和 7 年国勢調査の実施について
- (2) 令和 6 年度寄附金〔ふるさと納税等〕の状況について

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

#### 【令和 7 年国勢調査の実施について】

- 5 年前の国勢調査の際に調査員が調査するうえで不都合なことはあったか。
- △ 5 年前に限らず一般的なものとして、家庭に訪問してもなかなか出てこない、外国人の方に調査の趣旨を理解してもらえないなどといった声がある。これらの対策として、指導員、調査員に対しては説明会で対応の仕方を説明し、調査対象となる住民に対してはホームページ等で周知していく。
- 現代の特徴として、防犯意識が高まっており、家庭を訪問する際に調査員が苦勞することが予想される。調査員が調査しやすいように配慮してほしい。（要望）

【令和6年度寄附金（ふるさと納税等）の状況について】

- ふるさと納税に対する当局の評価は。
- △ 震災関連については多くの方々から暖かいご支援をいただいていると認識している。また、新たに脱炭素や公共交通に関する項目を設けたところ、かなりの増額となっており、高岡市の新しい施策に対しても高い評価をいただいていると考えている。
- ふるさと納税のメニューで予想外に寄附額が多かったものは。
- △ 予想外というものはない。寄附項目の見直しは常に行っている。例えば、コロナ関連や環境といった大きな枠で設けていたものを、環境面では脱炭素に絞り、コロナについてはコロナ禍が明け、新たに地域公共交通に投資を進めていきたいという本市の方向性から新たに地域公共交通の項目を増やした。脱炭素では約8,000万円の増額、地域公共交通では約1,500万円の増額となり、本市の施策が評価をいただいていると考えている。
- 返礼品について人気があるものは。
- △ 令和6年度については、1位、2位は昆布締めだった。そのほか工芸品のタンブラーやビアカップなどが人気だった。
- 今後も高岡市ならではの返礼品を設定していただきたい。（要望）
- △ 高岡市の特色や魅力を端的に伝えられるような返礼品のメニュー開発を進めていきたい。
- 最も寄附額が多い、「未来を拓く子どもたちを応援したい」という項目について、具体的にどのようなところに寄附金が使われるのか。
- △ 充当先は様々あるが、例えばおとぎの森公園の魅力向上プロジェクト、スポーツコアのリフレッシュプロジェクトなど、寄附目的の趣旨に沿うような事業に充当している。
- 多くの方々からいただいた大切な寄附であるため、希望に沿った使い方をしたい。（要望）
- 目的を決めない寄附の額が5年度から増加した理由は。
- △ 6年8月に一般社団法人富山県勤労者信用基金協会が解散した際に、出捐金と同額の約2,500万円強を寄附いただいたことが大きい。
- 目的を明確にしていないものに対して寄附したいという声は大事にしていかなければならない。声をしっかりと聞いて、今後のメニュー作りに活かしていただきたい。（要望）

2 その他

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔未来政策部〕

- (1) 令和7年度ロボットプログラミング体験イベントについて
- (2) 万葉線まつりについて

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〈 当局からの報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

総務文教常任委員会 当局説明員（24名）

|                     |        |                         |        |
|---------------------|--------|-------------------------|--------|
| 未来政策部長              | 鶴谷 俊幸  | 会計管理者<br>会計課長           | 高嶋 史恵  |
| 未来政策部政策監            | 日名田 尚明 |                         |        |
| 未来政策部次長<br>企画課長     | 寺井 知恵  | 教育長                     | 近藤 智久  |
| 未来課長<br>秘書課長        | 山下 正博  | 教育次長                    | 村上 彰   |
| 情報政策課長              | 窪田 真寿美 | 教育次長<br>学校教育課長・教育改革推進室長 | 津田 久   |
| 総合交通課長              | 中川 正人  | 教育総務課長                  | 芹山 奈緒樹 |
| 広報発信課長              | 塩谷 宜子  | 生涯学習・スポーツ課長             | 高山 篤志  |
|                     |        | 文化財保護活用課長               | 釣 和洋   |
| 総務部長<br>選挙管理委員会事務局長 | 梅崎 幸弘  |                         |        |
| 総務部次長<br>総務課長       | 津幡 佳成  | 監査委員事務局長                | 柴野 泰彦  |
| 総務部次長<br>財政課長       | 新保 貴之  |                         |        |
| 総務部次長<br>納税課長       | 上口 裕之  |                         |        |
| 人事課長                | 木村 文徳  |                         |        |
| 危機管理課長              | 室谷 智   |                         |        |
| 管財契約課長              | 江尻 典世  |                         |        |
| 市民税課長               | 加藤 康代  |                         |        |
| 資産税課長               | 山本 明宏  |                         |        |
|                     |        |                         |        |